

子どもの安全は地域で守る

青少年育成結城市民会議の活動は、関係団体と連携を図りながら、青少年との日常的なふれあいの中で地域の連帯感を育て、青少年健全育成地域活動等の促進、健全な家庭づくりに向けた支援等の諸活動に取り組んでいる。

中でも、親子や地域の人々がふれあえる場所や機会の提供として、各支部において、地域の特性を生かした三世代交流事業を実施している。それぞれ個性ある事業に取り組み、市内小学校9校を介して家族や地域の方が交流を深めることができた。

また、関係団体および学校や地域と協力して「子どもの安全は地域で守る」ための防犯活動にも力を入れている。児童・生徒を事件や事故から守るため「子どもを守る家」の設置活動を推進するとともに、地域での工夫を凝らした防犯パトロールの実施、各小学校では、警察の協力を得ながら「不審者対応模擬訓練」を実施している。

秋には、まつり結城のイベントとして、結城市建設協同組合の協力を得て、「親子木工教室」を開催している。大工さんの指導を受けながら、本立てを製作し、親子で協力して物をつくる喜びを体験し大変好評を得ている。

毎年2月には「青少年の豊かな心を育む大会」を開催している。平成23年度は善行青少年56件、青少年健全

育成功労者3名に表彰状や感謝状の贈呈、市内代表3校の家庭教育学級生による活動発表、中学生6名による少年の主張発表を行った。



善行青少年表彰



豊かな心を育む大会
会場に展示した、三世代交流事業の報告書

講演では、元土浦日大高校校長程塚洋先生に「子どもたちに 夢と希望と 生きる力を！」と題して講話をいただいた。大会終了後のアンケートでは、「豊富な事例から、心に残る良いお話でした。もう一度子育てを考えさせられました。」という声がたくさんあった。

今後も、関係機関と連携を密にし、家庭、学校、地域社会が一体となって青少年の健全育成に積極的に取り組んでいきたい。

はじめてのキャンプin白浜2012

青少年育成行方市民会議では、平成23年度県民会議からの補助事業であった「青少年育成活動支援モデル事業」を継続し、市民会議と子ども会育成会の共催で高校生会の協力のもと、8月18・19日に白浜少年自然の家において1泊2日の「はじめてのキャンプin白浜2012」を実施した。市内各小学校の4～6年生30名、高校生会13名、子ども会育成会13名、生涯学習課10名が参加し、有意義な体験活動をすることができた。

1日目のピザ作りでは、グループ結成後初の共同作業にもかかわらず、高校生リーダーを中心にグループで役割分担をし、1枚の大きなピザを焼き上げることができた。グループごとに具の切り方などを工夫し、それぞれ特色あるピザとなった。

テント設営は初めて経験する子どもがほとんどで苦戦していたが、一人では決してできないものであり、この活動を通して協力



大きなピザ作り

することの大切さを学んだ子どもも多かった。

キャンプファイヤーは、第1部の点火の式、第3部の消火の式では、各グループから選ばれた子どもたちが先導者・火守り・献詩者などの役割をしっかりとこなし、厳粛に行うことができた。そして、第2部のレクリエーションでは、高校生会が中心になって、場を盛り上げるゲームや各グループのスタンプを行った。スタンプは、事前に高校生が選んだ5曲の中からグループごとに1曲を選択し、振り付けを考えてダンスを踊ることとした。どのグループも一致団結して一生懸命に踊る姿が見られた。



みんなで協力してテントを設営

2日目の創作活動では、ペーパークラフトによるペン立て作りを行った。手先を使う細かい作業に投げ出しそうになる子どもも見られたが、真剣に取り組み、思い出に残る作品を仕上げることができた。

昨年に比べ高校生がリーダーとしての役割を果たして自主的に活動することができていた。子どもたちも初めての体験をしたり、新しい友達をつくることできたりと、大変有意義な2日間を過ごせたようだ。